

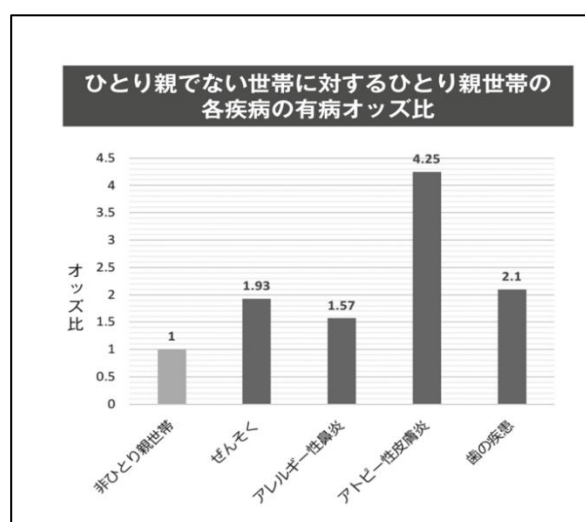
## 生活保護受給世帯の子どもにアレルギー性疾患や歯の疾患が多い ひとり親世帯ではさらにぜんそく：1.9倍 アレルギー性鼻炎：1.6倍 アトピー性皮膚炎：4.2倍 歯の疾患：2.1倍

生活保護受給者の健康管理支援が令和3年より施行されます。生活保護受給世帯の子どもに対する支援も検討されていますが、根拠となるデータはほとんどありませんでした。

生活保護受給者の自治体管理データと医療扶助レセプトデータを結合した2自治体のデータを分析しました。生活保護受給世帯の子どもの特性（個人・世帯データ：年齢・性別・世帯構成・国籍）と疾病の罹患（ぜんそく、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、歯の疾患）との関連を分析しました。

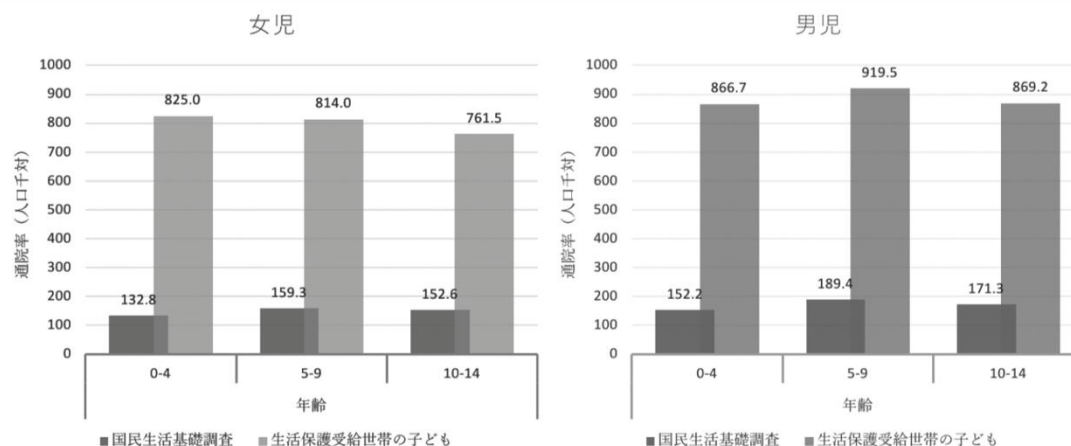
2016年1月時点で生活保護を受給している世帯の子ども（0-15歳）は573人でした。それぞれの疾病の有病割合が国民生活基礎調査の結果よりも極めて高いことがわかりました。また、ひとり親世帯である場合にぜんそくが約1.9倍、アレルギー性鼻炎が約1.6倍、アトピー性皮膚炎が約4.2倍、歯の疾患が2.1倍多いこと、外国籍世帯の子どもでは、日本国籍の子どもと比べて、歯の疾患が約2.3倍多いことがわかりました。

原因については今後更なる検証が必要ですが、一つ、社会的な孤立等に伴う生活上の様々なストレスが関与している可能性が考えられます。また、ひとり親世帯ではひとり親でない世帯に比べて、子育てに伴う困難が多いことが推察されます。生活保護受給者の世帯においても、ひとり親世帯に対する追加的な支援を検討する必要があるかもしれません。

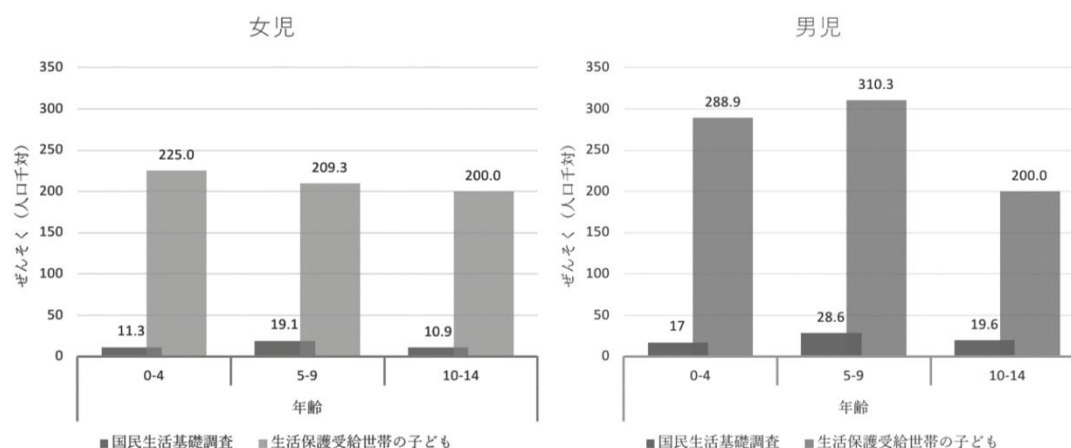


お問い合わせ先：近藤尚己 東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野 nkondo@m.u-tokyo.ac.jp

### 生活保護受給世帯と一般集団（国民生活基礎調査）の子どもの比較：通院率



### 生活保護受給世帯と一般集団（国民生活基礎調査）の子どもの比較：気管支喘息の有病割合



#### ■謝辞

本研究は、平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業「社会的弱者への付き添い支援等社会的処方の効果の検証および生活困窮家庭の子どもへの支援に関する調査研究」の一環で実施しました。

#### ■発表報告書

報告書1：「付き添いのちから」生活困窮者の医療サービス利用の実態および受診同行支援の効果に関する調査研究。一般社団法人・日本老年学的評価研究機構。

2019. <https://www.jages.net/project/konkyu/>